

2025年12月期決算(連結)参考資料

2026年2月13日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<https://www.greenland.co.jp/ir/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2025年12月期決算	3
2. 2026年12月期業績予想	8
3. 業績推移	9
4. 第47期(2025年12月期)期末配当	10
5. 役員等人事	11
6. 役員新体制	12
7. 2026年の取り組みについて	13

1. 2025年12月期決算

① 連結決算概要

(単位:百万円)

	2025年	2024年	増減	増減率
売上高	6,452	6,412	40	0.6%
売上総利益	1,425	1,454	△29	△2.0%
営業利益	735	774	△39	△5.1%
経常利益	716	780	△64	△8.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	487	534	△47	△8.8%

【概況】

当社グループにおきましては、物価高騰の影響はありつつも、雇用・所得環境の改善に伴い緩やかに個人消費が回復したことに加え、インバウンド需要が高い水準で推移する中、北海道におけるゴールデンウィーク期間中の天候不順や九州においては夏場の猛暑に見舞われるなど、思うように集客が図れない局面もありましたが、2年目となる「中期経営計画2026(2024年12月期～2026年12月期)」の重点施策である各事業の収益力強化ならびに経営の効率化に積極的に取り組むことで利益の確保に努めました。

また、初めてとなる女性役員の登用、従業員に対する積極的な賃上げの実施、福利厚生制度の拡充や教育・研修の強化のほか、EV充電設備の設置を取り進めるなど、同じく中期経営計画の重点施策である人的資本経営の推進ならびにサステナビリティ経営にも鋭意取り組んでまいりました。

以上により、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は前期を上回りましたが、売上総利益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前期を下回る結果となりました。

② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

	売上高			セグメント損益		
	2025年	2024年	増減	2025年	2024年	増減
遊園地事業	2,860	2,894	△33	766	822	△56
ゴルフ事業	1,085	1,046	39	105	87	17
ホテル事業	1,958	1,962	△3	63	95	△31
不動産事業	175	163	12	122	107	14
土木・建設資材事業	372	345	26	97	69	28
消去又は全社	—	—	—	△419	△407	△12
合計	6,452	6,412	40	735	774	△39

【遊園地事業】

売上高：九州の遊園地は、春に人気アニメ「プリキュア」シリーズの最新作を題材としたフロアイベントを開催いたしました。また、小学生モデルユニット「KOGYARU(コギヤル)」のライブステージのほか、「タマホームスペシャル花火物語」を年3回開催するなど、1年を通じて、季節毎に多彩なイベントを開催し、幅広い世代の集客を図りました。

施設面では、新規アトラクションとして回転ブランコ「ウェーブスインガー GURUGURU」ならびに体験型アトラクション「黄金ハンター ～7つの挑戦～」をオープンさせるとともに、園内飲食店舗や物販店舗の大規模リニューアルを実施して遊園地の魅力増大を図りました。

また、夏季の暑さ対策として、「雲海ミスト」の設置など涼感演出の拡充に取り組んだほか、夏季限定の「ウォーターパーク(プール)」におきましては、「6つのプールエリア」とともに、ウォーターキャノンを使用した「スプラッシュフェス」の連日開催で夏場の集客を図りました。

北海道のスキー場は、年初はゲレンデコンディションも良好で、順調に集客が進みましたが、11月以降は、例年と比べ積雪量が大変少なかったため、12月での再オープンの見送りを余儀なくされました。

また、北海道の遊園地は、春のオープンより多彩なキャラクターショーのほか、北海道最大級の野外音楽フェス「JOIN ALIVE(ジョインアライブ)」など、話題性の高いイベントを開催するとともに、新アトラクション「ぞうさん★と★BOON!!」を導入し、更なる魅力の拡大を図りました。

さらに、いわみざわ公園管理においては、『バラ園』で春・秋2回の「ローズフェスタ」を開催したほか、『色彩館』では、「洋らん展」など各種イベントを開催して集客拡大を図りました。

また、新たにSNSプロジェクトチームを設置し、各施設の魅力・情報発信力の強化に努めました。

この結果、売上高は前期比33百万円減収(△1.2%)の2,860百万円となりました。

セグメント利益：売上高の減少及び売上原価が増加したことにより、前期比56百万円減益(△6.8%)の766百万円となりました。

【ゴルフ事業】

売上高： グリーンランドリゾートゴルフコースでは、36ホールを有するパブリックコースとコース内への乗り入れ可能な二人乗りカートが強みに、季節毎に趣向を凝らした多様なオープンコンペを開催して集客を図りました。

また、料金改定とともに、効率的な予約枠の拡大を実施することで、更なる収益性の向上に努めました。

『大牟田ゴルフ場』、『広川ゴルフ場』の両メンバーシップコースでは、カート乗り入れ可能を強みとして、大手ゴルフメディアとのコラボレーション企画をはじめ、幅広い情報発信により集客を図りました。また、コース整備やクラブハウスの改修などを積極的に行い、利用満足度向上を図りました。

また、コロナ禍で中断しておりました韓国内におけるゴルフ会員権販売を再開することで、平日を中心とした利用者数拡大を図りました。

この結果、売上高は前期比39百万円増収(+3.7%)の1,085百万円となりました。

セグメント利益： 売上高の増加に伴い、前期比17百万円増益(+20.4%)の105百万円となりました。

【ホテル事業】

売上高：九州のホテルブランカでは、遊園地やゴルフ場のオフィシャルホテルとして、各種特典の強みを全面に打ち出すとともに、OTA(オンライン旅行代理店)を活用して、ビジネス客やインバウンドの取り込みにも注力いたしました。

また、料飲部門におきましては、多彩な味が楽しめる鍋バイキングや遊園地を望む中庭バーベキューのほか、ランチバイキングをPRして宿泊客に加え、遊園地のお客様のご利用促進を図りました。

九州のホテルヴェルデでは、グリーンランドリゾートのオフィシャルホテルとしての強みを打ち出し、贅沢な食材にこだわった「こだわりの朝食」のご提供に注力し、ファミリー客をはじめ、平日のビジネス客まで幅広い層のご利用拡大を図りました。

料飲部門におきましては、洋食レストラン「フォンターナ」における「ランチバイキング」、和食レストラン「小岱」の季節の会席料理やイベント「日本酒を楽しむ会」の開催、遊園地を望む「バーベキューガーデン」など、各々の魅力を活かしたメニュー展開により集客を図りました。

宴会部門におきましては、人気の「カニ&ステーキ祭り」など、地域のシティホテルとして魅力あるイベントを開催し、売上拡大を図りました。

北海道のホテルサンプラザでは、駅に近い好立地をアピールするとともに、日々の市場動向を分析し、OTAを通じて、きめ細やかなニーズに沿った宿泊プランを提供することで、ビジネス客や各種団体客の利用促進と収益拡大を図りました。

そのほか、レストランの運営形態の見直しや各種宴会プランのリニューアルに取り組み、収益性拡大を図りました。

北海道の北村温泉ホテルでは、「源泉掛け流し43℃の名湯」と強塩泉で保温効果が高い「温まりの湯」をPRして、日帰り入浴とともに、短期滞在型のご利用促進に努めました。

この結果、前期比3百万円減収(△0.2%)の1,958百万円となりました。

セグメント利益：売上高の減少及び売上原価が増加したことにより、前期比31百万円減益(△33.4%)の63百万円となりました。

【不動産事業】

売上高：グリーンランドリゾートエリアにおける一部の既存テナントの賃料改定に伴い、売上高は前期比12百万円増収(+7.6%)の175百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比14百万円増益(+13.7%)の122百万円となりました。

【土木・建設資材事業】

売上高：バイオマス火力発電所への燃料投入業務が堅調で、売上高は前期比26百万円増収(+7.8%)の372百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比28百万円増益(+40.5%)の97百万円となりました。

2. 2026年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2026年予想	2025年実績	増減	増減率
売上高	7,000	6,452	547	8.5%
営業利益	780	735	44	6.1%
経常利益	740	716	23	3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	500	487	12	2.6%

※ 上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる可能性があります。

3. 業績推移

連結(通期)

(単位:百万円)

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 予想
売上高	5,732	6,406	6,412	6,452	7,000
営業利益	763	888	774	735	780
経常利益	820	891	780	716	740
親会社株主に帰属する 当期純利益	428	463	534	487	500

4. 2025年12月期期末配当の件

当社は、株主に対する安定的な配当を経営の重要政策の一つとしており、1株当たり10円の期末配当を実施する予定としております。

なお、2025年12月期第2四半期末(中間期末)におきまして、中間配当として1株につき5円の配当を実施しております。また、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
第2四半期末	2円00銭 普通配当2円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭
期 末	2円00銭 普通配当2円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	11円00銭 普通配当11円00銭	10円00銭 普通配当10円00銭
年 間	4円00銭 普通配当4円00銭	12円00銭 普通配当12円00銭	14円00銭 普通配当14円00銭	16円00銭 普通配当16円00銭	15円00銭 普通配当15円00銭

5. 役員等人事

2026年3月27日開催予定の定時株主総会において正式に決定

1. 新任取締役候補

◆取締役(非常勤) 吉村 雄大(ヨシムラ タケヒロ) 1968年7月14日生 57歳

【略 歴】

1991年4月 西部瓦斯株式会社(現 西部ガスホールディングス株式会社)入社

2018年4月 同社 人事労政部部長

2021年4月 西部ガスホールディングス株式会社 デジタル戦略部部長

2022年4月 同社 デジタル戦略部長

2025年4月 同社 執行役員総務広報部長(現職)

2025年4月 西部瓦斯株式会社 執行役員総務部長(現職)

※2021年4月1日付で西部瓦斯株式会社(旧会社)は西部ガスホールディングス株式会社へ
商号変更しております。

また、西部瓦斯株式会社(新会社)は、2021年4月1日付で西部瓦斯分割準備株式会社から
商号変更しております。

※吉村雄大氏は、社外取締役候補であります。

2. 退任予定取締役

◆取締役(非常勤) 山下秋史(現当社取締役、西部ガスホールディングス(株)顧問)

6. 役員新体制



当社の役員新体制は以下のとおりの予定であります。(2026年3月27日付)

役 職 名	氏 名	業務担当・委嘱
代表取締役社長 社長執行役員	松野 隆徳	
取締役 常務執行役員	寺田 尚文	空知リゾートシティ(株)代表取締役社長
取締役 常務執行役員	佐伯 賢二	遊園地事業部長兼営業部長
取締役 執行役員	富山 裕人	経営管理室長
取締役 執行役員	田中 宏昌	経営管理室室長 (総務・人事担当)
取締役	吉村 雄大	社外取締役 (西部ガスホールディングス(株)執行役員総務広報部長)
取締役	大塚 晶子	社外取締役 (株式会社肥後銀行取締役監査等委員)
監査役	岡部 雅彦	常勤監査役
監査役	中尾 哲郎	社外監査役 (弁護士法人中尾総合法律事務所所長)
監査役	水本 忠敬	社外監査役 (税理士法人青い鳥サポート代表社員)
監査役	藤田 直己	社外監査役 (公認会計士藤田直己事務所所長)
常務執行役員	溝田 哲子	遊園地事業部部長 (西部ガス(株)より出向受入れ)
執行役員	東 俊宏	有明リゾートシティ(株)代表取締役社長

7. 2026年の取り組みについて



【中長期的な成長に向けた取り組みについて】

本年は、「中期経営計画2026(2024年1月1日～2026年12月31日)」の最終年度となるため、連結売上高をはじめとする業績目標の達成に向け、ますます多様化するお客様のニーズに的確且つ迅速に対応していくことで、インバウンドを含む集客拡大と収益拡大を図ってまいります。

また、資本の効率化をはじめ、「中期経営計画2026」の骨子に基づいた各施策に取り組み、当社グループの中長期的な成長を目指してまいります。

【中期経営方針2026の骨子】

(1) 各事業の収益力強化

- ・長年にわたる事業で培った、当社グループ各施設の知名度の高さとブランド力を活かした、集客力強化に向けた取り組み
- ・主力の遊園地事業を中心とした新たな設備投資による魅力の創出
- ・新たなサービス創造による付加価値の増大

(2) 経営効率化の推進

- ・DX推進による顧客満足度向上と業務効率化の推進
- ・効率的な運営経費支出の実施

(3) 人的資本経営の推進

- ・年間総実労働時間の短縮、賃上げ、福利厚生制度拡充など、従業員エンゲージメント向上に向けた取組み
- ・教育訓練・資格取得制度の拡充、女性管理職育成など将来に向けた人財基盤の強化

(4) SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化

- ・当社グループの主力事業であるサービス業の特性を活かした社会貢献への取組み
- ・環境負荷の少ない脱炭素電力の購入など、持続可能な社会づくりへの取組み

7. 2026年の取り組みについて

【遊園地事業】

①グリーンランド遊園地(九州)

開園60周年という大きな節目の年を迎えるにあたり、特別イベントの開催やアトラクションの新規導入・リニューアルに加え、園内飲食店舗のリニューアルを行い、新たな「グリーンランド」の魅力を発信いたします。また、夏季のプールやミスト等の園内涼感演出の取り組みにより夏場の暑さ対策を強化し、大規模な花火大会のほか、年間を通じた多彩なイベント開催により、このメモリアルイヤーを盛り上げてまいります。

■アトラクション

○「スーパーバイキング～クラークンの伝説～」 2月28日(土)リニューアルオープン

大人気アトラクション「スーパーバイキング」をリニューアルいたします。

○新規アトラクション「ZOMBIE STORM(ゾンビストーム)」 3月1日(日)オープン

最新XR技術を搭載した没入型シューティングアトラクションを新規導入いたします。

■春のイベント

○開園60周年記念ラリーイベント「海賊団救出大作戦」・「ラプトルとプエラの迷子探し大作戦」

期間:3月1日(日)~5月31日(日)予定 計92日間

○「NHKこどもスタジオ NHKキッズキャラクター大集合！」

期間:3月14日(土)~5月31日(日) 計79日間

○「仮面ライダーゼッツ スペシャルショー」

期間:3月15日(日)、3月29日(日)、5月4日(月・祝) 計3日間

◆上記以外にも、多彩なキャラクターショーをはじめ、未就学児を持つファミリーをターゲットとしたイベントを開催

■GW花火イリュージョン(和太鼓とのコラボ演出) 5月2日(土)・3日(日・祝)・4日(月・祝)・5日(火・祝)

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地(スキー場)

遊園地が開園40周年を迎えるにあたり、新規アトラクションの導入のほか、盛りだくさんのイベントを開催し、お客様の期待を超える楽しさを提供してまいります。

■春イベント

◆バラエティに富んだキャラクターショー開催

- ・「ウルトラヒーローズスペシャル」ショー
- ・「名探偵プリキュア！」ショー
- ・「超宇宙刑事ギャバン インフィニティ」ショー

■新規アトラクション導入 「ドロップツイストタワー(仮称)」導入 7月25日(土)オープン予定

■夏～秋イベント(予定)

- ・子ども達に人気のキャラクターショー開催
- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE 2026」(ジョインアライブ)
- ・夜の遊園地貸し切り大合コンイベント (グリコン)
- ・大規模花火大会を2回開催

「いわみざわ彩花まつり花火大会(7月)」・「いわみざわ公園花火大会(8月)」

■ホワイトパーク(スキー場)

- ・新たなスノーアクティビティエリアを展開し、国内客のみならず、インバウンドの獲得を図る

③いわみざわ公園(「バラ園」、「色彩館」、「キャンプ場」)

- 夏・秋の「ローズフェスタ」の開催など、各施設のイベントや魅力をSNSを活用して幅広くPR

【ゴルフ事業】

- 荒尾市、大牟田市、広川町(久留米市)の3つのゴルフ場において、そのスケールメリットやカート乗り入れ可能な強みを活かした集客施策に取り組む。
また、カート道路補修や樹木の伐採・剪定などのコース整備に加え、各設備の更新や利便性向上など、顧客満足度向上に取り組む。
- 「グリーンランドリゾートゴルフコース」においては、開場60周年記念ゴルフコンペのほか、季節毎に趣向を凝らしたオープンコンペを開催して集客拡大を図る。
また、2人乗りカートやエアコン完備の休憩所など、快適なプレー環境をアピールして集客を図る。
- 「大牟田ゴルフ場」ならびに「広川ゴルフ場」の両メンバーシップコースでは、競技大会の開催に伴う練習ラウンドによる集客や大型ゴルフコンペの獲得に注力。
また、クラブハウスや練習場などの設備更新により、顧客満足度向上を図る。
- WEB予約やSNSによるPRを活用し、国内客のほか、インバウンドの取り込みにも注力。
- 脱炭素電力の購入をはじめ、適正な緑地管理によるCO2吸収効果の促進、太陽光発電装置の運用、プラスチックゴミ削減など、引き続き、環境に配慮したSDGsへの取り組みに注力。

【ホテル事業】

①ホテルブランカ・ホテルヴェルデ

【ホテルブランカ】

- ・遊園地、プール、ゴルフ場に隣接する強みを活かしたお得な宿泊セットプランの販売。
- ・客室の設備の充実化を図る。
- ・特色ある鍋バイキングや遊園地を望む中庭でのバーベキューの更なる利用促進を図る。

【ホテルヴェルデ】

- ・グリーンランドリゾートのオフィシャルホテルとしての強みを活かして集客拡大を図る。
- ・「こだわりの朝食」、正統な日本料理が味わえる「和食レストラン(小岱)」、「露天風呂付天然温泉」、「大宴会場の完備」など、近隣ホテルとの差別化を打ち出して、幅広い層のお客様に選ばれるホテルづくりを目指す。

②ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

【ホテルサンプラザ】

- ・駅に近い好立地を活かしてビジネス客の獲得を図るとともに、札幌市からのアクセスの良さを背景に、様々なOTAを活用し、インバウンドの獲得にも注力。

【北村温泉ホテル】

- ・「源泉掛け流し43℃の名湯」や「美味しい食事」をSNS等を活用してPRし、日帰り入浴の促進を図る。
- ・周辺観光や体験とのセットプラン造成により、団体客やインバウンドの宿泊利用の拡大を図る

【不動産事業】

・積極的な遊休社有地の活用に取り組むほか、遊園地周辺の社有地への新規テナント誘致に注力し、収益基盤の安定化を図る。

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート「オズハウス I 番館」完成・賃貸開始

【土木・建設資材事業】

- ・バイオマス発電所への燃料投入業務の安定的な受託の推進
- ・土木工事など新たな業務受注に加え、ポゾテックやコールサンドなどの建設資材の販売促進